

光葉ワーキングクラブメールマガジン



<2023年12月号>

198号 2023.12.01 配信

「今年はどうな年だったかな？」年の瀬になると、そう自問自答します。世界中で、物価高、異常高温、日本ではコロナの5類移行などの諸問題があり、現在も進行形です。

総会をはじめ全国支部長会、幹事会、秋桜祭、生涯学習などが行われ、たくさんの同窓生とお会いできました。皆さまも同窓会活動への参加が、今年の楽しい出来事のひとつとして記されているといいな、と思います。さらに若い世代が参加したくなる同窓会活動を目指したいと思います。

皆さまは、今年はどうな年でしたか？（ビジネスネットワーク）

■同窓会だより

◇第31回 秋桜祭に参加しました テーマ「START」 11月11日・12日

①展示・動画・スライド・Instagram

「会長による同窓生ゆかりの学内紹介」「ボストン・ニューヨークの旅写真展」

②同窓生による八つの出店販売・子どもくじ引きコーナー



4年ぶりの販売と子どもくじ引きコーナー



同窓生の交流の場としても盛り上がりました

◇光葉同窓会生涯学習の報告

11月25日(土)、山田夏樹(昭和女子大学日本語日本文学科専任講師)先生によるマンガを通して戦後日本のヤミ市を読み解く講演会を開催しました。22名が参加し、「久しぶりに学ぶ楽しさを味わった」「マンガを通しての考察が面白かった」「深く学んでみたい」などの感想が寄せられました。



◇みかん狩りのご案内 12月15日(金)雨天決行 (定員になり次第締め切り)

集合場所:昭和女子大学東明学林正面入り口 集合10:45分/解散13:30 持ち物:お弁当・飲み物

参加費:無料 (持ち帰り用みかん代は別料金)

申込先 E-mail: dousoukai@swu.ac.jp (氏名、卒年、学科、携帯番号を記載してください)

※光葉同窓会年末年始休業期間 2023年12月23日(土)～2024年1月8日(月・祝)

※1月号(199号)は、2024年1月10日(水)に配信します。

■広げよう光の葉

尾越 竜子 さん

1991年 生活美学科卒（現・環境デザイン学科）

「建築やインテリアの光を地道に灯していきたい!!」

母校を卒業し、東京の大手ゼネコンの意匠設計部で7年間勤務した後、地元の愛媛県に戻り子育て期間を経て、地元の設計事務所で一級建築士として働いていました。

ある日、知り合いの建築家が設計した新築住宅を見学させていただいた折に、コンクリート打放しのモダンな建物の中に白い猫脚の家具が置かれていて、そのちぐはぐさに違和感を覚えました。建築からインテリアデザインまで、すべてを行う職域を「インテリアアーキテクト」と言います。日本ではまだ珍しいですが、私自身もそうした存在になりたいと思いました。

生活美学科で、建築の基本から断熱や音響、インテリアの色彩学、色を与える心理的効果まで、インテリアアーキテクトの基礎を学び、様々な人生経験を経て、卒業から23年後の45歳の時、専門的・学術的にインテリアを学ぶため、インテリアの本場であるイギリスへ渡る決意をしました。

2015年にロンドンのインテリアデザインスクールで英国政府機関認定学位を取得して、英国インテリアデザイン協会の正会員となりました。その後、他学の大学院で木造住宅に特化した勉強もしました。昨年から今年にかけては、そういった努力がようやく実を結んだように思います。

昨年ロンドンで行われた、英国のデザイン・エ・タール社主催の世界的アワードで、日本人として初めて「ラグジュアリーレジデンス・アジアパシフィック」部門で部門優勝。

さらに今年7月、同誌の上記アワードに加え、「ホテル&プロパティ」「ヨット&アピアテーション」の三部門の上位優勝者のみが招待される、イタリア・カプリ島で行われた「エリートアワード」でも優勝を果すことができました。



『館山の家』エリートアワード優勝作品



カプリ島の授賞式

また、9月には、別の作品で「インテリアスキーム グローバル部門」で再び優勝しました。このアワードでは、同じ英国インテリアデザイン協会の大先輩の率いる会社も別のカテゴリーで優勝し、イギリスのインテリアアワードで日本人が2名も優勝するという快挙となりました。

女性の一生は長いです。欧米では、パイロットやドクターがインテリアデザイナーに転職したりしています。昭和で学んだ礎をベースに、大手ゼネコンでの設計、地元愛媛での専業主婦・子育て期間、イギリスでの経験。さらに独立してからの経験がなければ、今の私にはたどりついていません。人生に無駄なことはないと思います。夢や目標を失わず努力をしていけば、必ず点が線としてつながり、実を結んでいくのです。人見楠郎先生が講義の中で「世の光となろう」と話されていたことを、今でもしっかりと覚えています。私の礎は三軒茶屋にあります。

今秋、東京にベースを移し、[RON DESIGN | ラグジュアリーインテリア・建築デザイン・高級マンションリノベ | 東京 \(ron-design.jp\)](https://ron-design.jp)を立ち上げ、「インテリアアーキテクト」として、一步を踏み出し始めました。お世話になった方々、関わってくださった方々への感謝の気持ちを忘れずに、未来のクライアントのために、インテリアや建築の光を、自分なりに地道に灯して参りたいと思います。

【End】